

札幌市都市計画マスタープランの見直しに関する
市民アンケート調査結果

平成27年1月

札幌市市民まちづくり局都市計画部都市計画課

1. 調査の概要

(1) 調査の対象

札幌市にお住まいの18歳以上の市民3,000名を無作為に抽出し、調査の対象としました。

(2) 調査の方法

調査票は、郵送により配布・回収しました。

(3) 調査の期間

平成26年9月12日（金）～平成26年9月30日（火） ※集計は、平成26年11月26日回収分までのものについて行いました。

(4) 回収結果

903名の方からご回答いただき、回収率は30.5%でした。

2. 調査結果の概要

(1) 札幌での暮らしについて

- ・居住環境では、買い物・通院や交通などの「生活利便性」を最も重視しており、今後は、利便性の高い地域へ住みたいという意向が多くなっていました。
- ・居住環境で安全性を重視する回答も多く、若い世代は治安、高齢者は防災を重視する傾向がみられました。
- ・約8割の市民が現在住んでいる場所に満足し、住み続けることを望んでおり、約1割が市内での移転をしたいという意向でした。
- ・主な交通手段は自家用車が最も多く、交通利便性の高い場所に移り住む場合、約8割が公共交通の利用を心がけるという回答でした。
- ・山並みや河川、まちの眺望、緑豊かな街並みが札幌らしい景観であり、公共建築物・公園・道路などの公共整備で景観配慮が必要という回答でした。

(2) これからのまちづくりについて

- ・人口が減少するなかでの市街地のあり方について、約6割が「市街地を拡大しない」、約3割が「中長期的に狭める」という回答でした。
- ・冬の快適な暮らし、災害に強いまち、省エネで環境に優しいまちが今後望まれていました。
- ・今後の取組として、地下鉄駅周辺などへの利便施設等の集積を求める意見が多くなっていました。

(3) まちづくりへの参加

- ・まちづくり活動の参加経験は約3割であり、高齢になるほど参加経験の割合が高くなっていました。
- ・今後は、アンケートの協力などにより参加したいという意見が多くなっていました。

2. 調査結果（詳細）

【問1】 あなたご自身のことについてお聞きます。（年齢、職業、家族構成、居住年数、自家用車の有無）

- ・ **回答者は各年代同じくらいの割合**であり、若い世代からの回答も比較的多くなっていました。
- ・ **働いている方**（会社員、自営業）が**約5割**、**無職の方**（専業主婦、学生、無職）が**約4割**となっていました。
- ・ 単身世帯、夫婦世帯のほか、**親と子の世帯からの回答が多**くなっていました。
- ・ **半数以上の回答者が札幌市に30年以上住んでいる**方となっていました。
- ・ **約3/4の回答者が自家用車を持っている**方となっていました。

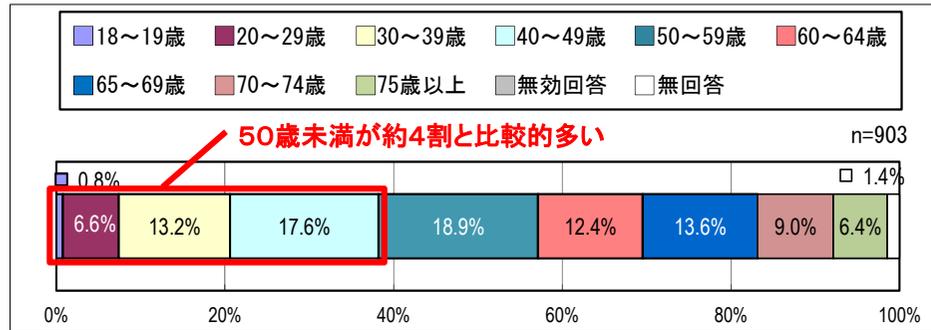


図1 年齢

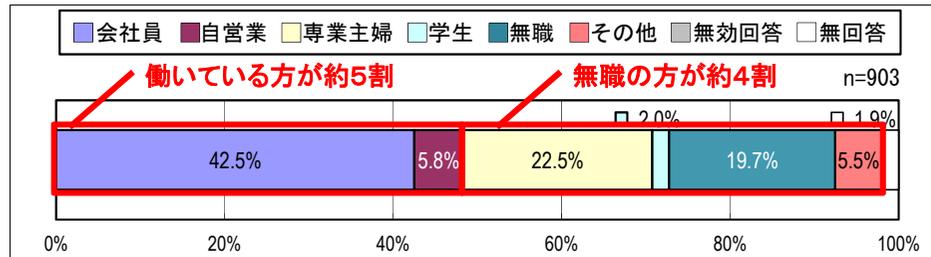


図2 職業

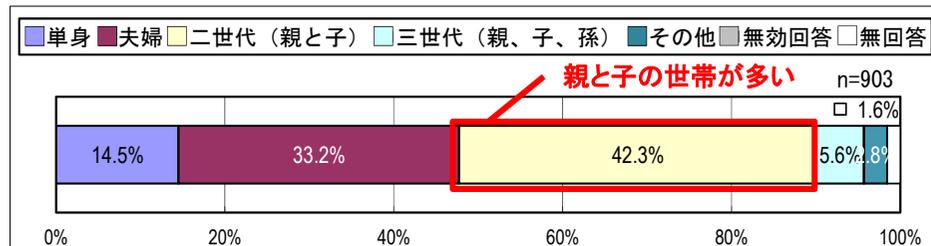


図3 家族構成

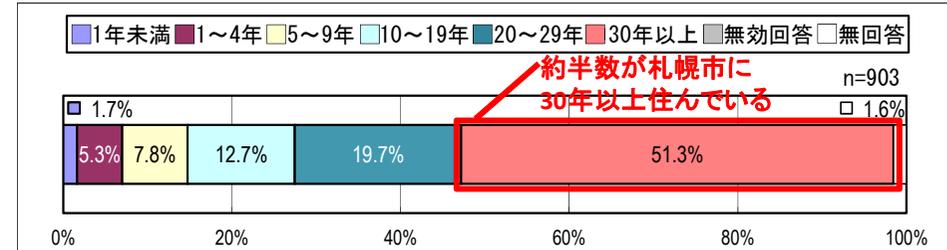


図4 札幌市での居住年数

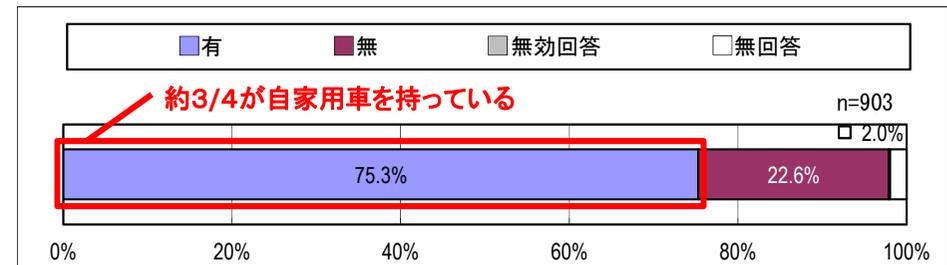


図5 自家用車の有無

2. 調査結果（詳細）

【問2】 札幌市での暮らし（1）住まいや暮らしについて Q1 居住環境として重要と考える項目はなんですか。

- ・ 居住環境として、買い物・通院、公共交通などの「生活利便性」を最も重視しており、続いて、災害や防犯などの「安全性」、ゆとりある居住環境や公園・緑地等が重要という回答となっていました。
- ・ 年齢別の回答では、いずれの年代でも「生活利便性」を最も重視しており、安全性については、若い年代ほど治安や防犯を重視し、高齢になるほど災害時の安全性を重視する傾向がみられました。

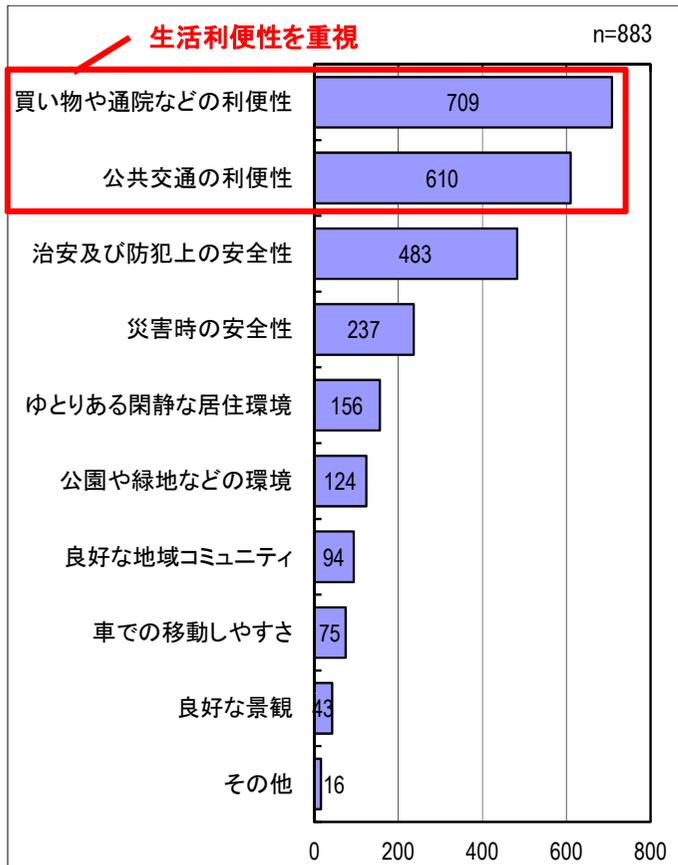


図6 居住環境として重要と考えること

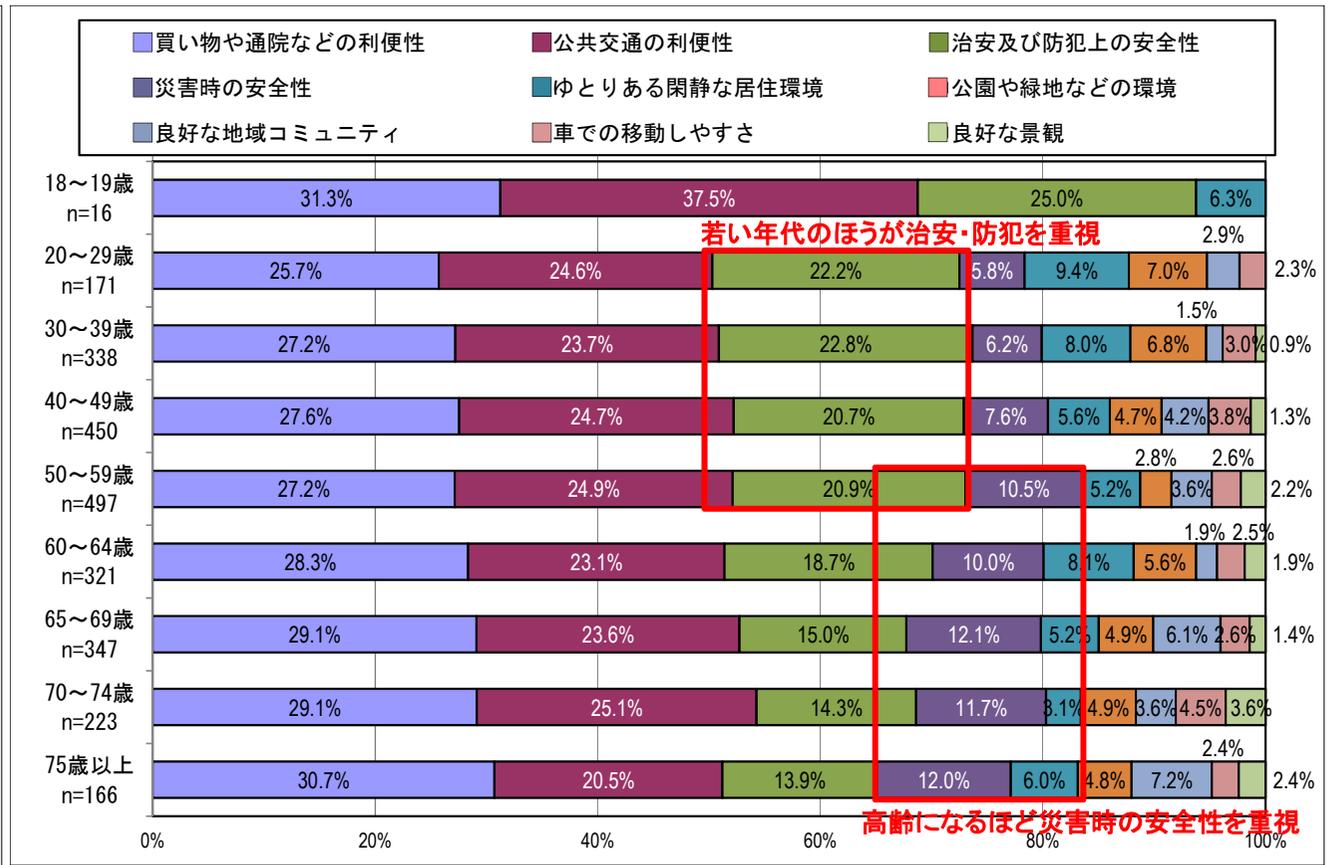


図7 居住環境として重要と考えること(年齢別)

2. 調査結果（詳細）

【問2】札幌市での暮らし（1）住まいや暮らしについて

Q2 今後も現在お住まいの地域に住み続けたいと思いますか。 ⇒ Q3 住み続けたいと思う理由、Q4 移りたいと思う最大の理由

- ・回答者の約8割が、現在住んでいる地域に住み続けたいという考えであり、約1割が市内の他の地域に移りたいという考えとなっていました。そのため、札幌市内に住み続けたいという意向は合わせて約9割となっていました。
- ・住み続けたい理由としては、住んでいる地域や住宅に満足しているという回答が最も多くなっていました。
- ・他の地域に移りたい理由としては、交通利便性が悪いという回答が多く、その他の理由として、転勤等の仕事の都合、老後に暮らしやすい環境を求めて、冬の暮らしに不便を感じている、子どもや親の近くで暮らしたいなどが挙げられていました。

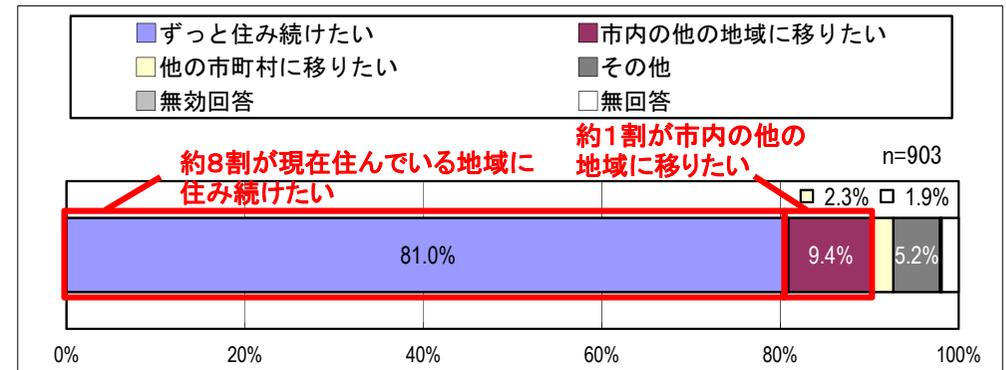


図8 今後も現在の住まいに住み続けたいか

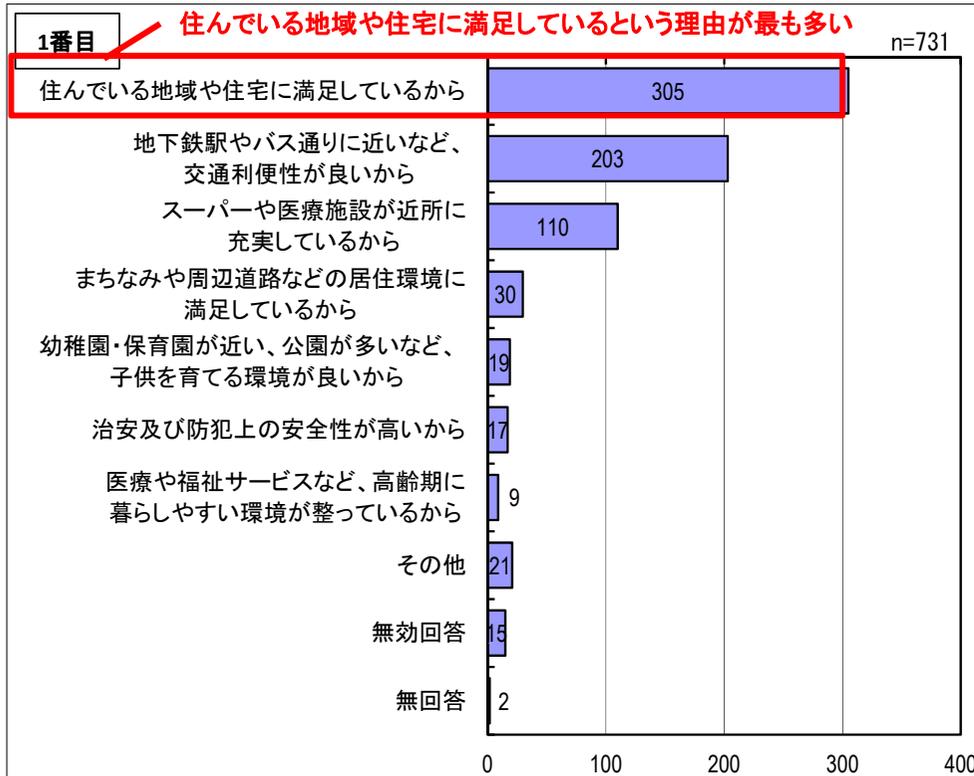


図9 住み続けたいと思う理由（1番目の理由）

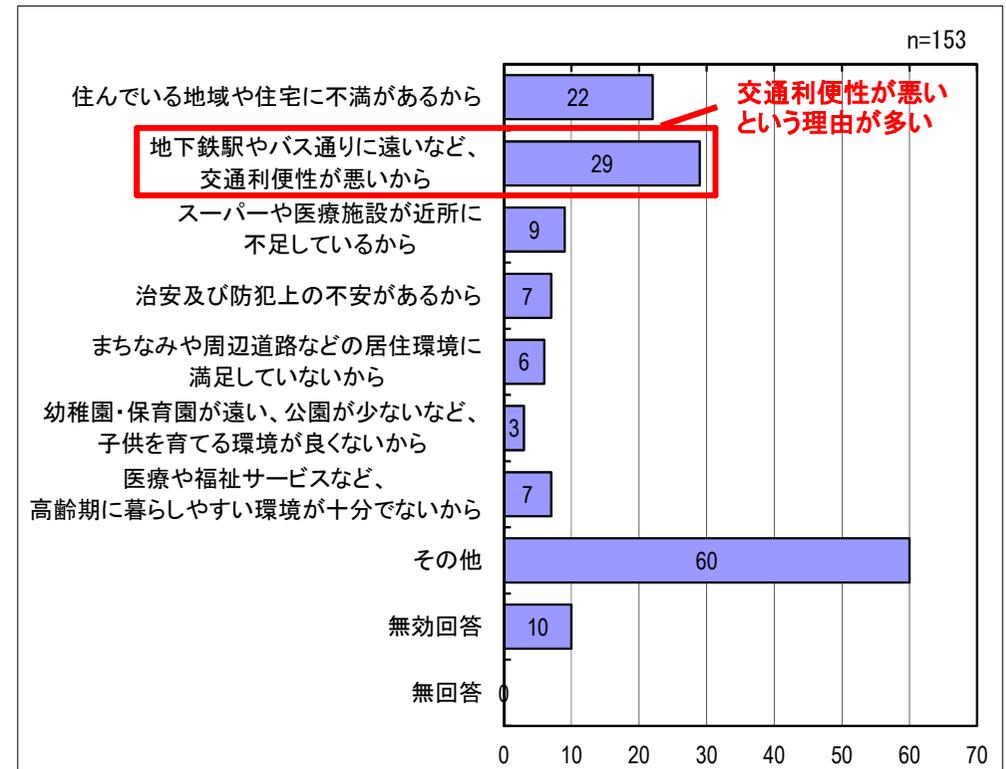


図10 移りたいと思う理由

2. 調査結果（詳細）

【問2】札幌市での暮らし（1）住まいや暮らしについて
Q5 あなたが住みたいと思う場所は、どのような地域ですか。

- ・住みたいと思う場所は、拠点、複合型高度利用市街地という回答が多く、**利便性の高い環境で暮らしたい人が多くなっていました。**
- ・車を持っている回答者と比較し、**車を持たない回答者は利便性の高い地域に住みたい**という考え方が強くなっていました。

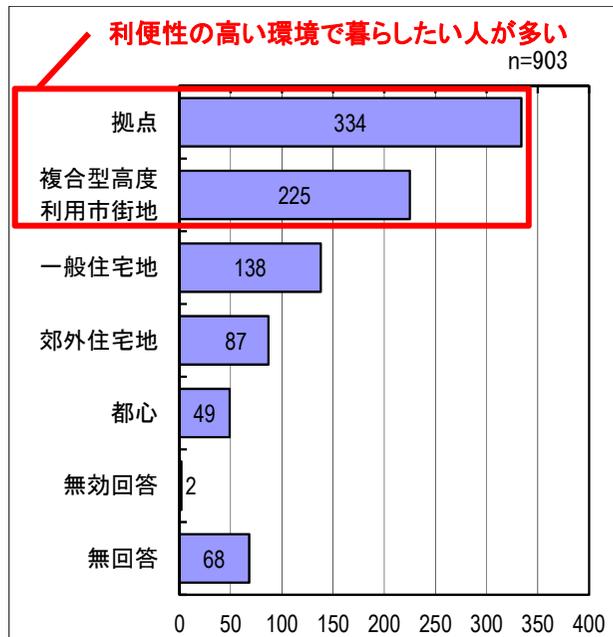


図11 住みたい場所

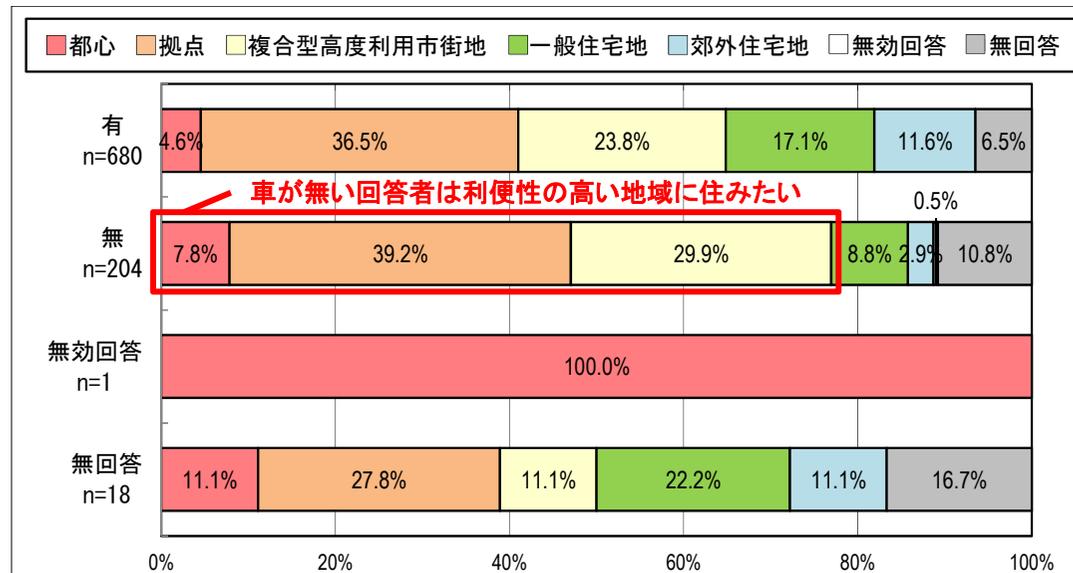


図12 住みたい場所(車の有無別)

※用語の説明

【都心】札幌駅、大通周辺の商業施設・公共施設などの施設、地下鉄・JRなどの公共交通が集まっているまちの中心部

【拠点】地下鉄・JR駅の周辺で、商業施設・公共施設などの施設が一定程度立地している地域

【複合型高度利用市街地】都心や地下鉄駅・JR駅から歩いていける範囲（1km未満）で、マンション・アパートなどの共同住宅が多い住宅地

【一般住宅地】都心や地下鉄駅・JR駅から少し離れ、中規模なマンションや戸建て住宅が多い住宅地

【郊外住宅地】ゆとりがある住環境であり、戸建住宅を主体とした郊外の住宅地

2. 調査結果（詳細）

【問2】札幌市での暮らし（2）交通手段について

Q1 現在、最も多く利用する交通手段は何ですか。

Q2 都心、駅周辺などの公共交通の利便性の高い場所へ移り住んだ場合、移動手段についてどのように考えますか。

- ・ **最も多く利用する交通手段は、自家用車が最も多く、次いで地下鉄**となっていました。
- ・ 公共交通の利便性の高い場所に移り住んだ場合、**公共交通の利用に代える、心がけるという考えの方が約8割**となっていました。

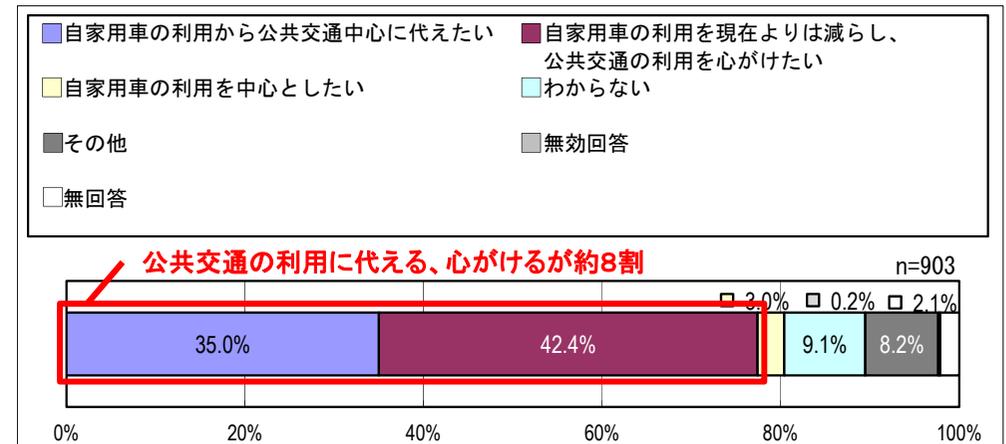
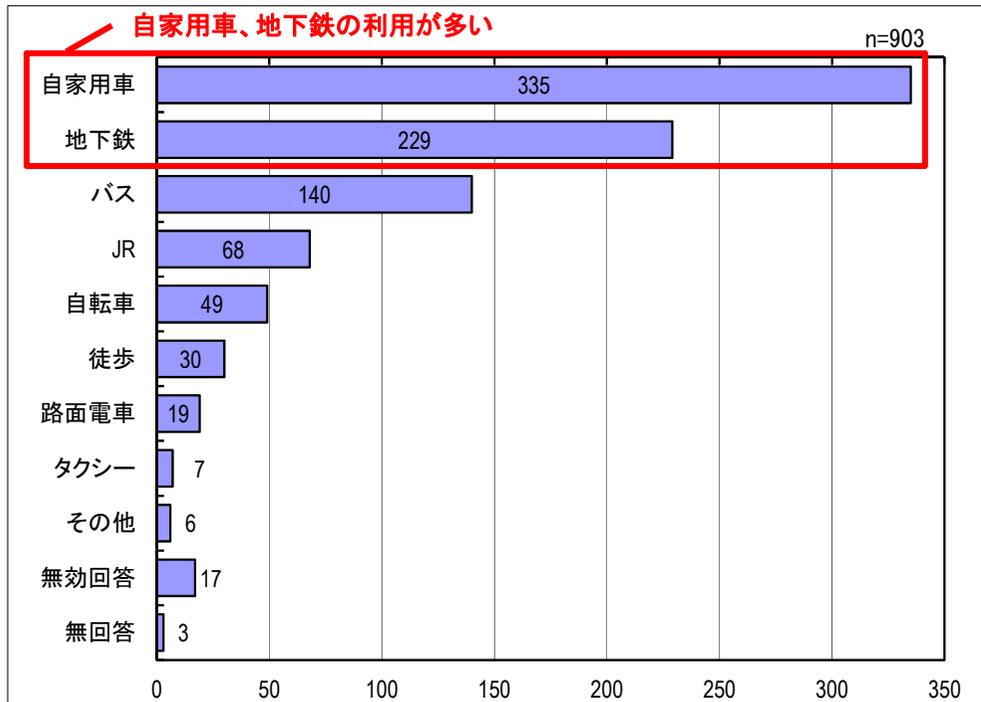


図14 利便性の高い場所へ移り住んだ場合の公共交通への転換意向

図13 多く利用する交通手段

2. 調査結果（詳細）

【問2】札幌市での暮らし（3）まちの景観について

Q1 札幌市らしい魅力のある景観だと思うものは何ですか。

Q2 魅力ある景観を守り向上していくため、必要だと思う取組は何ですか。

- ・ **山並みや川のある風景、みどり豊かな街並みなどの自然景観**が、札幌らしい魅力ある景観として好まれる傾向となっていました。
- ・ 景観を守り、向上するための取組として、**建築物や公園・道路などの整備**のほか、**みどりを生かした景観づくりの推進、建物や看板のデザインの規制**などが必要であるという回答が多くなっていました。

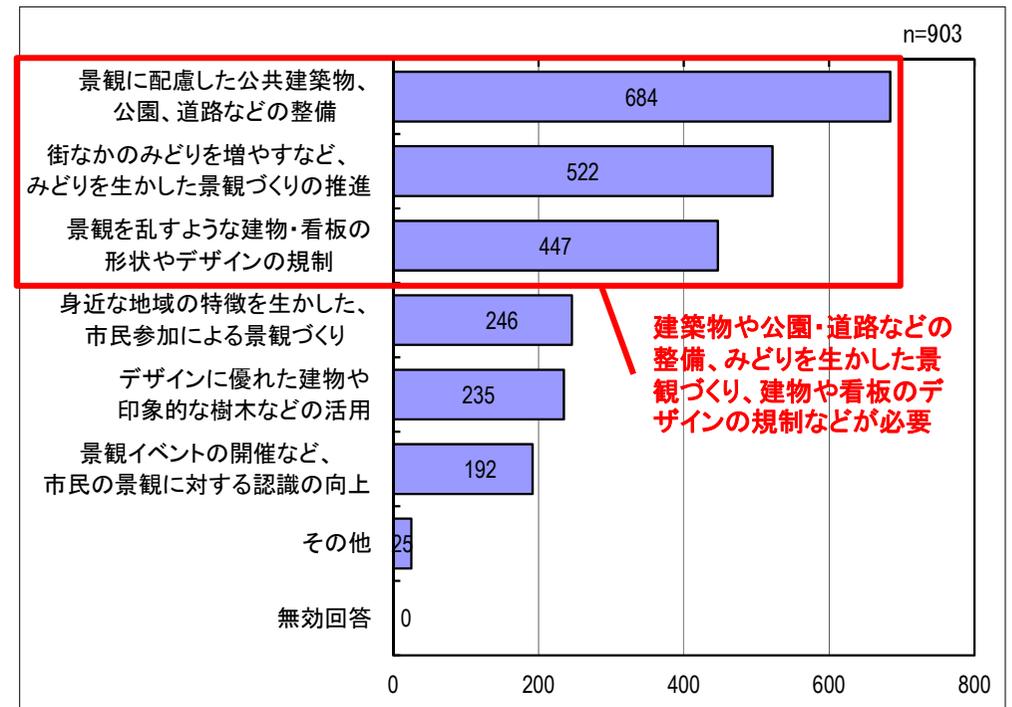
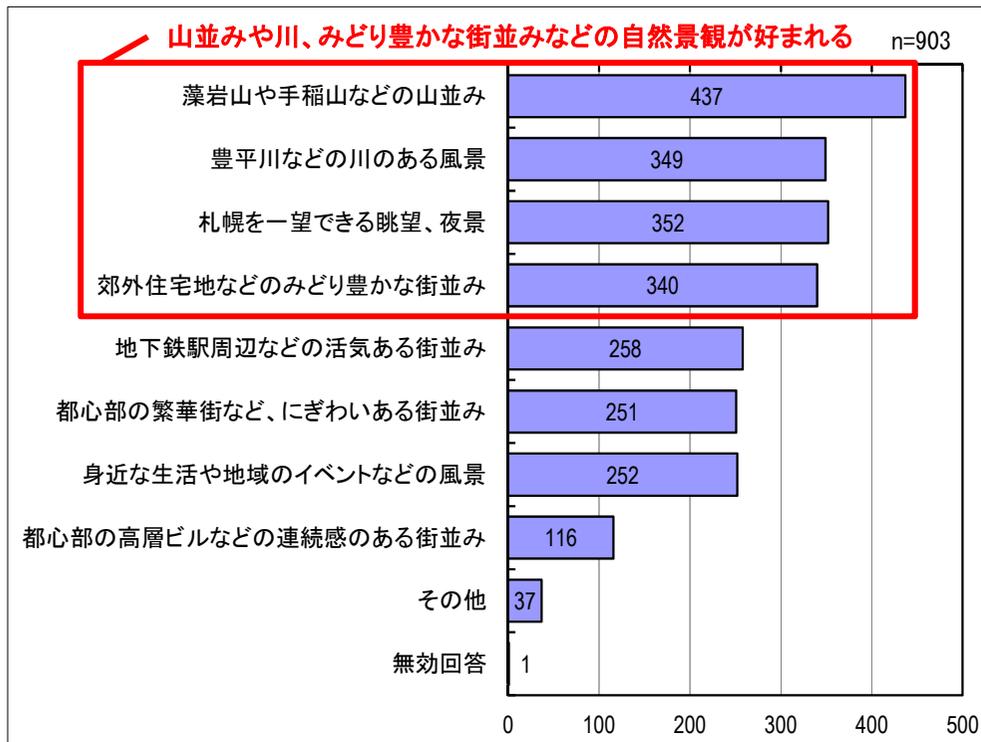


図16 景観形成に向けて必要な取組

図15 札幌らしい景観

2. 調査結果（詳細）

【問3】 これからのまちづくりについて

Q1 今後の人口減少を想定した場合、市街地のあり方についてどのように考えますか。

Q2 今後、札幌市はどのようなまちであってほしいと思いますか。

- ・今後、人口が減少することを考えた場合、**市街地を拡大しないという考えが約6割、中期的に範囲を狭めていく考えが3割**となっていました。
- ・今後の札幌市のまちのあり方は、**冬でも快適に楽しく暮らせるまちが最も望まれており**、続いて、災害に強いまち、環境にやさしいまちが挙げられました。
- ・今後の札幌市について年齢別にみると、**若い世代は観光や文化、高齢世代は環境配慮を望むなどの傾向**がみられました。

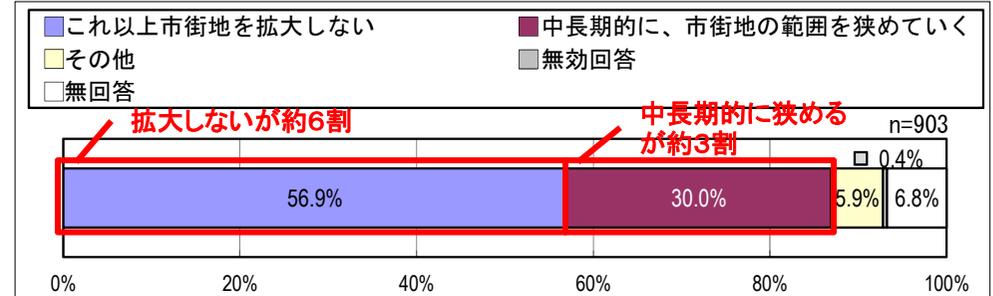


図17 人口減少を想定した市街地のあり方

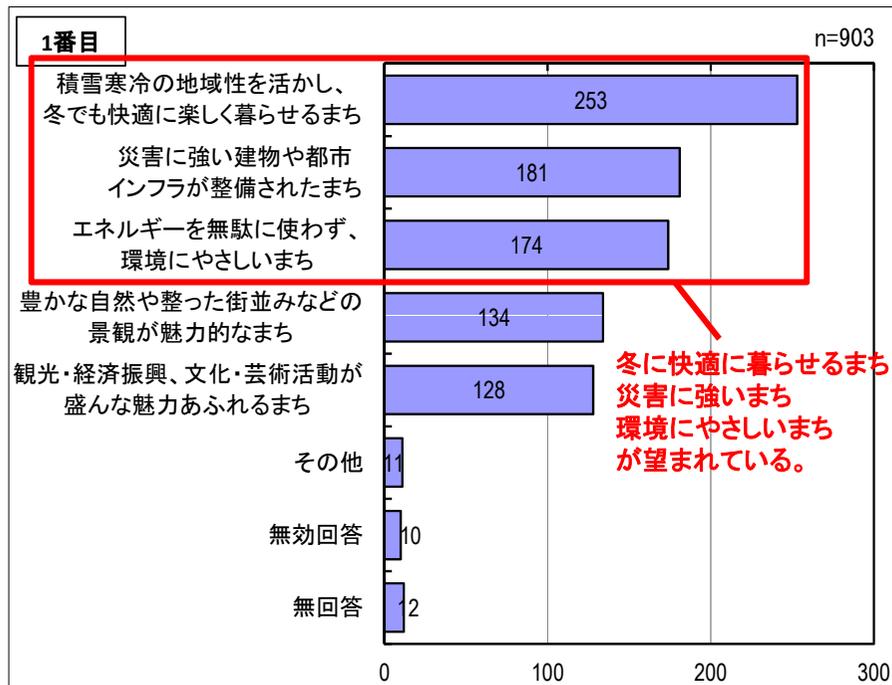


図18 今後の札幌市について(1番目の選択)

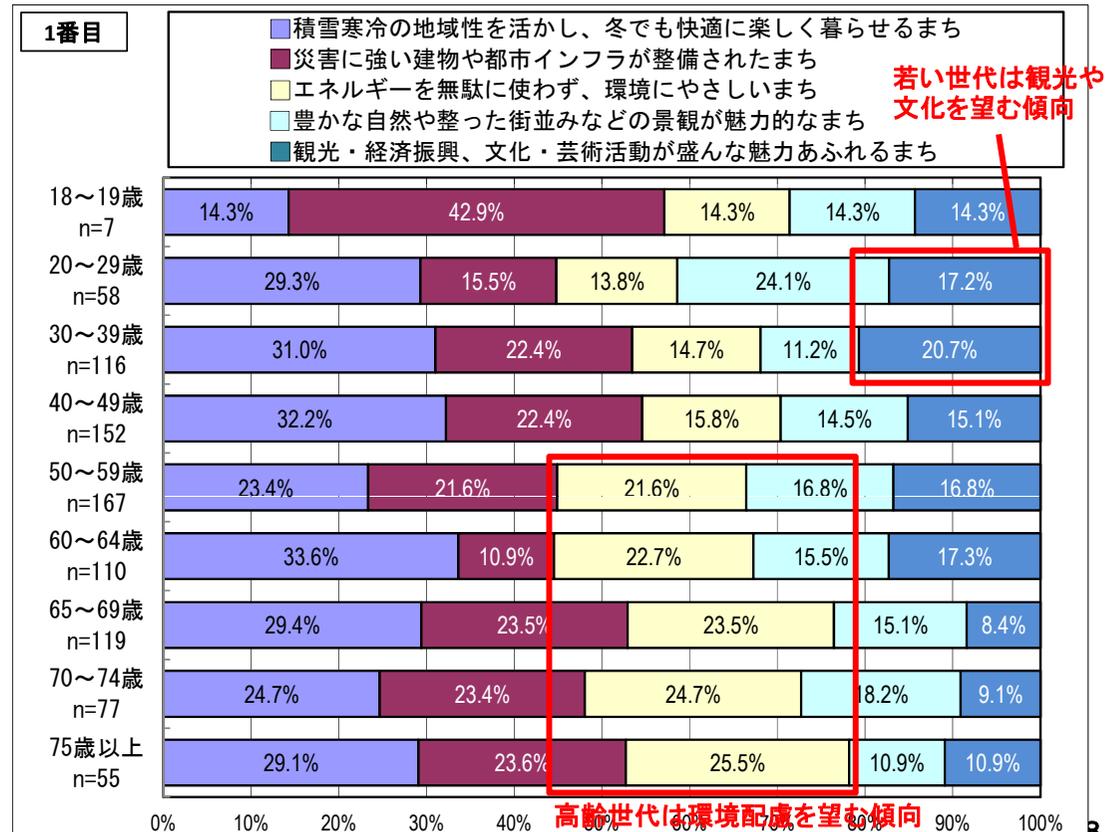


図19 今後の札幌市について(1番目の選択、年齢別)

2. 調査結果（詳細）

【問3】 これからのまちづくりについて

Q3 今後、札幌市の都市づくりを進める際に、どのようなところに力を入れていくべきだと思いますか。

Q4 地下鉄駅やJR駅の周辺に重要だと思う施設は何ですか。

- ・ 今後の都市づくりにおいては、**地下鉄駅周辺などに生活利便施設等を集積すること**に力を入れるべきという回答が多く、続いて、自然環境が身近に感じられる郊外住宅地の豊かな暮らしづくりとなっていました。
- ・ 地下鉄駅周辺などに**重要な施設**としては、**医療施設、公共施設、商業施設**の順に多くなっていました。
- ・ 地下鉄駅周辺などに**重要な空間**は、**自由に座れる場所、広い歩道、公園や緑地**の順に多くなっていました。

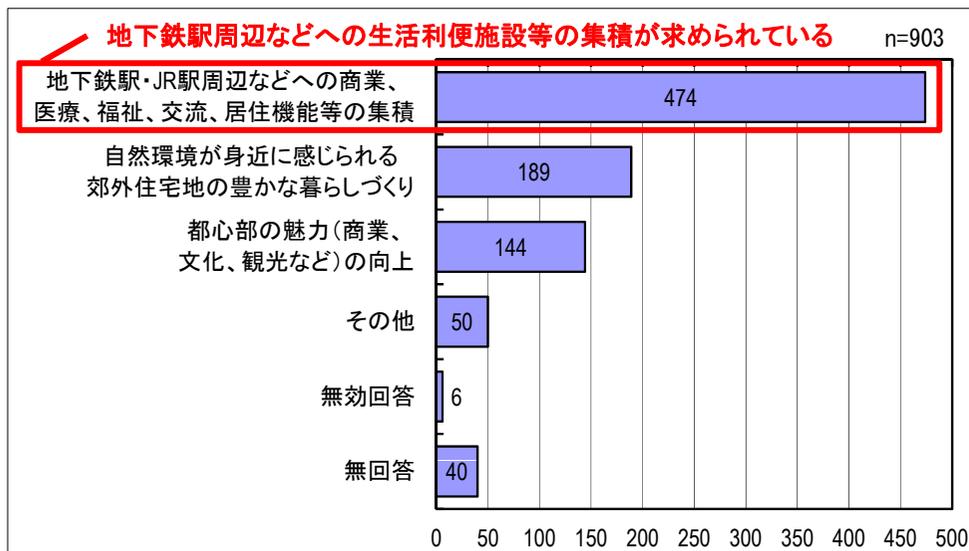


図20 今後の都市づくりで力を入れるべきところ

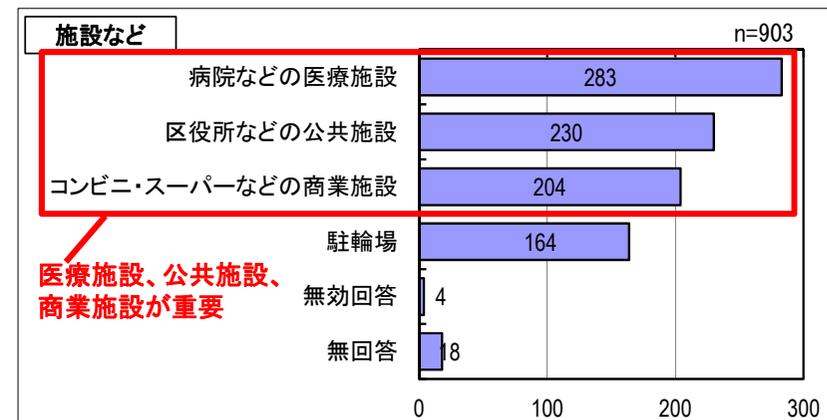


図21 地下鉄やJR駅周辺に重要な施設(施設)

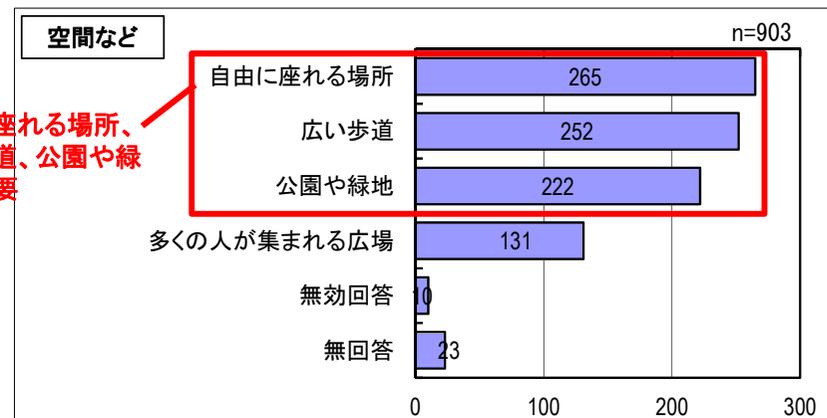


図22 地下鉄やJR駅周辺に重要な施設(空間)

2. 調査結果（詳細）

【問4】まちづくりへの参加について

Q1 今まで、市政運営に関する町内会活動を含む様々な取組やまちづくり活動へ参加したことがありますか。

Q2 住みよい地域をつくるためのまちづくり活動について、今後、参加したいと思うものは何ですか。

- ・回答者の約3割がまちづくり活動への参加経験がありました。
- ・参加経験を年齢別にみると、高齢になるほど参加経験のある割合が高い傾向となっていました。
- ・今後のまちづくり活動での参加について、アンケート等への協力が最も多く、その他、意見交換等、意見募集への参加が1割程度となっており、参加したくないという回答も1割程度みられました。

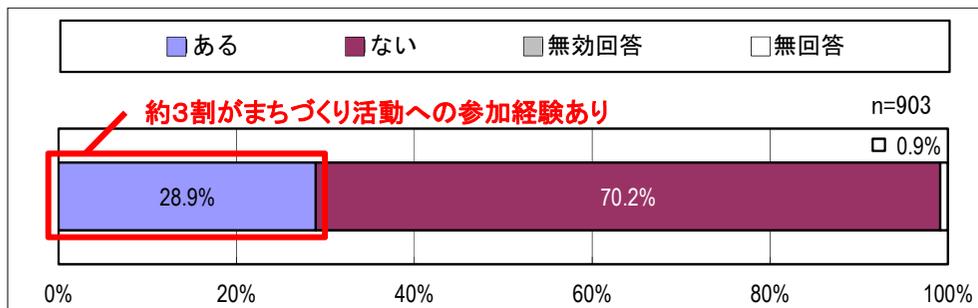


図23 まちづくり活動への参加経験

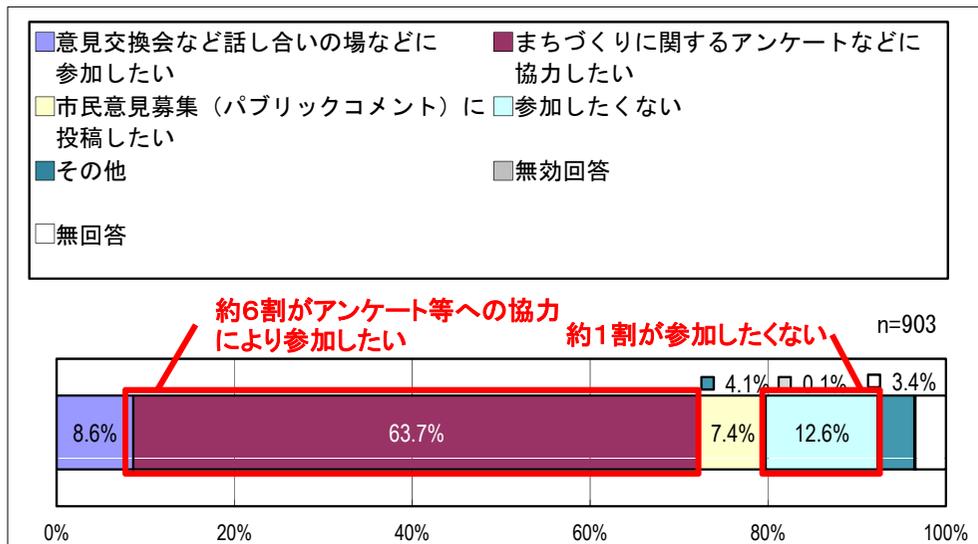


図24 今後のまちづくり活動への参加意向

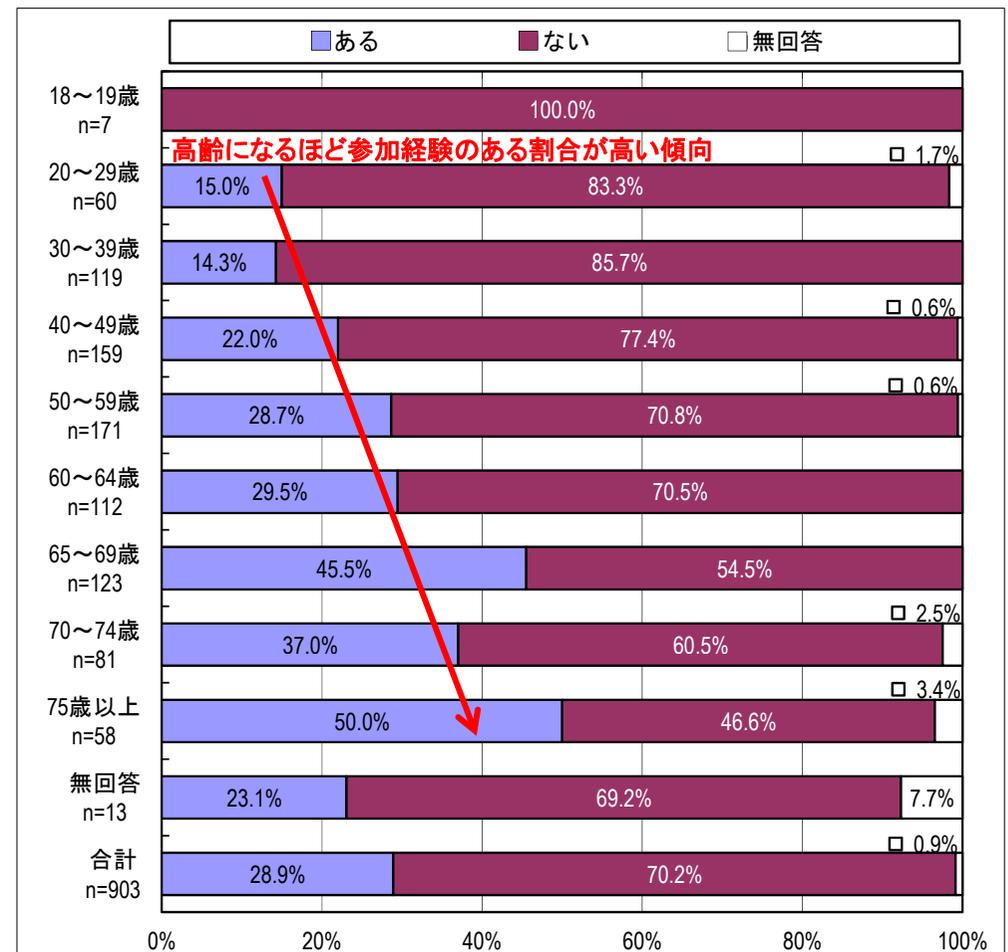


図25 まちづくり活動への参加経験（年齢別）